

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、わかりやすい情報を提供しています。
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

これまでの活動状況

4月30日時点

項目		2022年度 4月分	2022年度 累計
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター			(単位：回)
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	0	0
	専門家派遣	0	0
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	0	0
	車座意見交換会	1	1
■環境再生プラザ			(単位：回)
・専門家派遣	自治体など	1	1
	小中学校など	0	0
	その他	1	1
・移動展示		1 (1日)	1 (1日)
■その他			(WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)
・内部被ばく検査 (WBC)の支援		3	3
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援		0	0

今月の放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター実施分)

◆車座意見交換会 ・4/9 飯館村

(環境再生プラザ実施分)

◆専門家派遣

〈自治体など〉

・4/7 相馬市民生部放射能対策室

〈その他〉

・4/26 独立行政法人都市再生機構東北震災復興支援本部*

◆移動展示

・4/13 福島地方環境事務所* *オンラインによる実施



オンラインで専門家が放射線に関する講習 (4/26・UR都市機構)

*環境再生プラザでは、オンライン学習コンテンツ『なすナビ ふく知るチャレンジ』を作成しました。

このオンライン学習はクイズ形式で、3カテゴリー

- ①放射線
- ②除染・中間貯蔵
- ③地域の環境再生

の問題を解くことで、震災から復興までの福島のこれまでを一連の流れで学ぶことができます。

各カテゴリーで全問正解すると、なすびさんオリジナル壁紙がゲットできます。

環境再生プラザHP「なすびのギモン」からアクセスできます。

<http://josen.env.go.jp/plaza/>

HPトップページから

環境再生プラザ



こちらからアクセスできます

